
職業リハ学会通信

NO.155 2018年 9月発行

学会大会

日本職業リハビリテーション学会
第46回(北海道)
2018年8月23日(金)～24日(土)
ダブル台風の中、北星学園大学にて
開催される
ご協力ありがとうございました

第46回日本職業リハビリテーション学会北海道大会を終えて

大会長 上野 武治

第46回日本職業リハビリテーション学会北海道大会は「障害者雇用・就労の差別解消に向けて～これまでの10年、これからの10年～」をテーマに、北星学園大学で開催されました。

大会は台風19号・20号のダブル台風の通過で航空便の欠航やJRの運休が相次ぐ中で行われましたが、参加者は事前登録235名、当日参加43名の計278名(うち学生4名)、他にボランティアや実行委員など運営関係者66名も加えると、約350名規模の大会になりました(なお、事前登録者11名が欠席でした)。

【大会第1日目の研修基礎講座と基調講演、懇親会】

午前は学会主催のA、B、Cの各研修基礎講座が行われ、それぞれ43(27)名、39(18)名、21(2)名の計103名(57)が受講しました(カッコ内は当日参加)。

午後1時から50周年記念ホールで大会長・上野の開会挨拶があり、引き続き「障害者雇用・就労の差別解消に向けて～これまでの10年、これからの10年～」と題する上野による基調講演が八田達夫実行委員長の司会で行われました。内容はこの間の障害者制度改革で、障害者雇用・就労には大きな変化がもたらされたが、国際労働機関や国連などの国際基準から見ると未だに大きな差別構造が残されており、その解消がこれからの課題であるとするものでした。

雨の中、学生食堂での懇親会には134名(当日9名)が参加しましたが、参加者から道内の事業所で作られたパンの差し入れもあり、それぞれの懇親と他地域との交流で楽しい機会になりました。

【研究・実践発表、ワークショップ】

第1日目午後2時半から大会2日目午前にかけて、22演題の口頭発表と11演題のポスター発表による研究・実践発表のほか、学会政策委員会主催ワークショップ「いま一度福祉から雇用への移行を考える」と7つの自主ワークショップが行われましたが、どこでも

活発で熱心な討論が印象的でした。特に自主ワークショップは発達障害から精神障害、テレワーク、働く当事者の語り、復職支援、地域での就労・就業部会連絡協議会など、多様なテーマが持ち寄られ、各会場とも大いに盛り上がったと聞いています。

【基調シンポジウムと閉会式】

2日目午後は、大会テーマによる基調シンポジウムが以下のシンポジストと分担テーマで行われました。まず、国際リハビリテーション協会事務局長の松井亮輔氏が「職業リハビリテーションの国際基準をめぐる国内外の動向」と題して、ILO第159号条約と障害者権利条約について、特に2016年の政府報告書の問題点や今年発足したインクルーシブ議連の活動について解説されました。次いで、(社福)さっぽろひかり福祉会理事長でもある上野が「わが国における保護雇用の創設と就労支援A型事業所」と題してILO提唱の保護雇用創設の必要性とA型事業の雇用への転換を提起、本学会長の朝日雅也氏は「ディーセントワークの実現—働く障害者のために」と題し、ILOのディーセントワークからみた福祉的就労の問題点と今後の課題を指摘しました。最後に認定NPO法人DPI日本会議長の西村正樹氏が「障害当事者の立場から望むこと」と題し、ご自身の障害労働者としての勤務経験とDPIの運動、権利条約について語る中で、学会直前に明らかになった中央官庁の障害者雇用率水増しへのDPIの抗議についても言及していました。その後、フロアから幾多の質疑が寄せられ、障害者雇用・就労における差別解消の課題への関心の深さが浮き彫りにされました。

午後3時から閉会式が行われ、来年度の第47回大会は2019年8月23日(金)～24日(土)、大阪で開催との発表があり、主催する事務局の(NPO)大阪精神障害者就労支援ネットワーク事務局長の保坂幸司氏(大会事務局長)から挨拶がありました。

続いて、担当理事から以下2氏の発表演題に対して奨励賞が授与されました。

研究部門：後藤 由紀子氏「障害学生就職支援担当者の役割に対する職業リハビリテーション機関職員の期待(第1報)」

実践部門：小坪 仁美氏「記憶障害を呈した40歳代女性に対し、就労移行支援事業所において実施した復職支援」

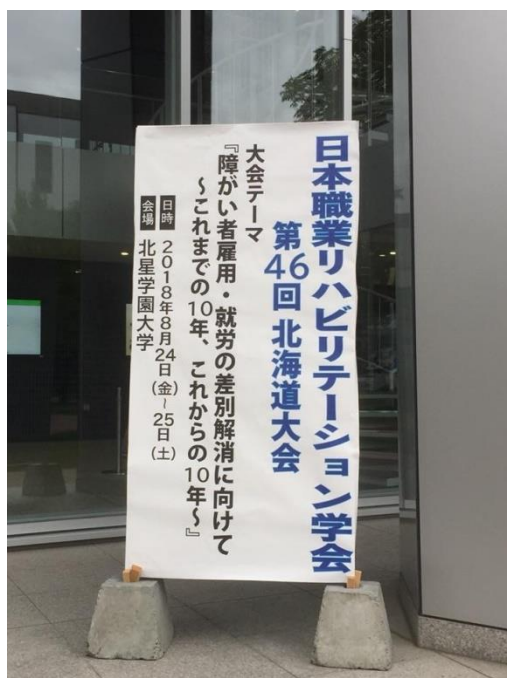
【大会閉会にあたって】

本大会の直前に報道された官公庁の長期にわたる障害者雇用率の水増し問題はさらに各地の自治体や独立行政法人にも波及し、底なしの様相を呈していますが、本大会のテーマ「障害者雇用の差別解消」が文字通り今後の大きな課題であることを示してくれました。

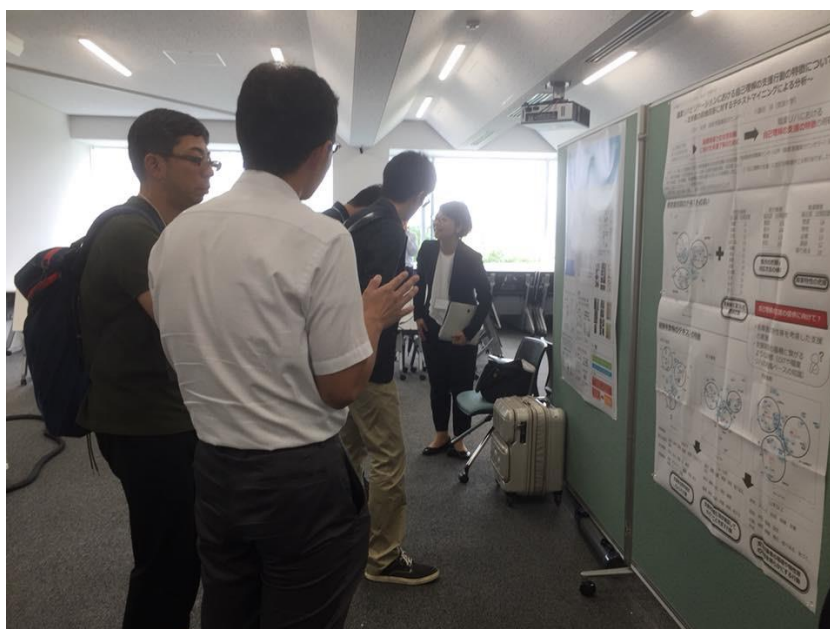
最後に、大会成功のために尽力していただいた北星学園大学の中村和彦教授と永井順子准教授をはじめ、非会員実行委員の皆様のご支援ご協力に深く御礼申し上げます。



研修基礎講座



大会会場入口



ポスター発表会場

第46回学会大会報告	1P
2018年度会員総会報告	4P
委員会報告	12P
ブロック活動報告	13P
国際セミナー報告	15P
会員投稿	16P
新入会員のお知らせ	17P
事務局からのお知らせ	17P